

令和4年9月22日

## 「心のバリアフリー」推進キャッチフレーズ決定!!

小学4年生から中学生を対象に募集した「心のバリアフリー」推進キャッチフレーズの各賞が決定しました。

今後、「心のバリアフリー」推進強化月間の10月に開催する市および推進パートナーのイベントにおいて、受賞キャッチフレーズを活用したPR活動を実施します。「心のバリアフリー」への関心を高めてもらい、身近なところから「心のバリアフリー」の取り組みを実践してもらう活動を行います。

### 記

1. 応募総数／117作品（小学校34作品、中学校83作品）

2. 受賞作品

◇最優秀賞 「共生、学びは無限大」

福島第二中学校 3年 遠藤 慧（エンドウ ケイ）さん

☆応募者コメント

皆、人種、障害の有無、性別、宗教の違いがある。そういった他人同士が、共に生きることができたら、お互いの学びはいくらでもあるのだろうと考えた。

◇優秀賞 「たがいなたがいの支え愛」

福島第二中学校 3年 田中 優有（タナカ ヨウ）さん

☆応募者コメント

様々な心身の特性や考え方を持つ人々が、たがいに支えあっていけるようになればよいなと思った。

◇特別賞 「心のバリア パリン！」

庭坂小学校 4年 押見 佳歩（オシミ カホ）さん

☆応募者コメント

みんなの心のバリアをパリンとやぶって仲良くしたい。

◇審査委員賞 「垣根を越えて、未来へ」

福島大学附属小学校 6年 持地 華帆（モチジ カホ）さん（グループ代表）

☆応募者コメント

「垣根を越える」は、人と人の心を隔てることを表す「心の垣根」、隔たりを越えることを表す言葉です。心のバリアフリーというテーマにぴったりだと思いました。このことが福島で未来まで続いてほしいという思いを込めました。

3. 表彰／バリアフリー推進パートナーミーティングの席上で表彰

とき／9月30日（金） 午前10時30分開会

ところ／ラコパふくしま 5階大会議室

参加対象者／バリアフリー推進パートナーの団体から約100人

#### 4. 「心のバリアフリー」推進強化月間の取り組み

##### (1) キャッチフレーズPR隊の活動による普及促進

- ・キャッチフレーズのPRや「心のバリアフリー」の普及促進活動を実施する「PR隊」を大学生中心に構成し、各種イベントで普及促進活動実施
- ・SNSの活用を含め、普及促進方法はPR隊の自由な発想をもとに決定

##### (2) 「心のバリアフリー」推進キャッチフレーズの活用

- ・キャッチフレーズ入り「のぼり旗」を作成し、各種イベントで活用「のぼり旗」は、推進パートナーにも貸出し、官民一体でキャッチフレーズをPR
- ・市や推進パートナーのイベントチラシなどへのキャッチフレーズ入れ込みによりPR
- ・「心のバリアフリー」出前講座などに、キャッチフレーズのミニ講座を設けPR
- ・推進パートナーと連携し、市職員向けに名刺テンプレートを作成・使用（市以外も拡大予定）

##### (3) 推進パートナー登録拡大

- ・キャッチフレーズPR隊や推進パートナーと連携し実施

##### (4) 推進強化月間の取り組みの情報発信

- (1)～(3)の取り組みについて、状況を市のSNSを通じて随時情報発信

#### 5. スケジュール

9月30日（金）バリアフリー推進パートナーミーティング

バリアフリー基本構想策定に向けたまち歩き点検（旧市内）

10月 1日（土）第1回福島市長杯ボッチャ大会

10月 7日（金）バリアフリー基本構想策定に向けたまち歩き点検

10月30日（日）いきいき！ふくし秋祭り&福島駅前軽トラ市

担当：共生社会推進課地域共生係

課長 高橋 係長 朝倉

電話 024-572-3948（直通）